

5月20日(土) 広川中学校体育大会 絆～活気のある広中～



「絆～活気のある広中～」をスローガンに全学年5ブロックに分かれての体育大会。最後の体育大会となる3年生は下級生をまとめ、ブロック一丸となって各競技に挑みました。今年は参観者の人数制限も緩和され、会場内の声援も一段と盛り上がり、笑顔あり悔し涙ありの熱い体育大会となりました。

5月27日(土) 下広川小学校運動会 心を一つに世界一の運動会にしよう!



「心を一つに世界一の運動会にしよう!」をスローガンに、全校児童みんなで力を合わせて各競技に取り組み、ダンスも披露しました。踊って投げての玉入れや、カレーとナンを持って平均台を落ちないように協力して渡る競技など、ユニークで楽しいプログラム満載で、児童も参観者も終始笑顔の運動会でした。

5月28日(日) エ克蘭ボランティア 生態系を守る活動実施



エ克蘭ボランティアと有志のみなさんが高間川沿いでオオキンケイギクの駆除活動を行いました。このオオキンケイギクはきれいな黄色い花を咲かせる植物ですが、生態系などに被害を及ぼすおそれがあるため、特定外来生物に指定されています。育てたり、持ち運んだりすることは絶対にしないでください。

5月12日(金) 吉永商店(株) 広川町防火委員会へ寄付



吉永商店(株)代表の吉永保仁さんが広川町防火委員会へ寄付をしました。

寄付金は、幼年・少年消防クラブ員を対象とした防火・防災訓練や研修など、火災や災害について正しい知識と行動を身に付けた「将来の地域防災の担い手」の育成事業費に活用されます。

6月4日(日) 広川球場 第39回壮年ソフトボール交流会

20の行政区から22チームが参加し、各チーム1試合の交流戦が行われました。

4年ぶりの開催となった本大会では、鋭い打撃や華麗な守備、切れのよい動きに歓声があがりました。

参加者からは「久しぶりにみんな集まったのソフトボールは楽しかった」「次回も参加したい」など、たくさんの声が聞かれました。



6月13日(火) 増永区 宝くじ助成で公民館備品を整備

増永区が「コミュニティ助成事業」を活用し、コピー複合機やコピー黒板、テーブル、チェアなどの備品を整備しました。

コミュニティ助成事業とは、(一財)自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業の一つ。地域のコミュニティ活動に必要な備品の整備を助成し、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与しています。

増永区では伝統文化の継承や景観保全など、公民館を拠点として地域の親睦を深める活動を行っています。しかし、近年は備品の老朽化によりこれらの活動に支障をきたしていました。今回の整備により快適な環境が整えられ、コミュニティ活動の充実と区民融和の取り組みが期待されます。

